

朝会 「水に浮く野菜 沈む野菜」

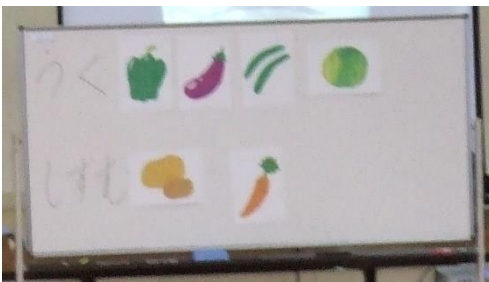


今日の朝会で私が子どもたちに話をする時間があり、「水に浮く野菜と沈む野菜」の実験を通して話をしました。

ピーマン・なすび・じゃがいも・きゅうり・キャベツ・にんじんの6つの野菜を用意して、水に浮くか沈むかをまずは、一人ひとり予想し、挙手で表現してもらいました。予想では、なすび、きゅうり、じゃがいも、キャベツ、にんじんが水に沈むのではと考えた子が多かったです。



結果は、体育館では見えづらいと思っていたので、事前に撮った動画で紹介しました。野菜が水に浮いたり沈んだりするのを歓声をあげながら見ていました。3枚目の写真が実験結果です。



次にこの仲間分けから気がつくことはないか尋ねると、すぐに6年生数名が手を挙げましたが、多くの子が考えようとしていたので、近くの子と話してもいいよと促すと、どの学年でもそれぞれに話し合いが始まり、もう一度尋ねた時には、多くの学年で挙手する子があり、





「沈んだ野菜は土の中でできる野菜」という意見が出てきました。水に浮くか沈むかは野菜の密度が関係しているのですが、今回はそこまでは求めずに、「じゃあ、沈んだじゃがいもやにんじんを水に浮かせる方法を思いついたらおしえてください」と話をして終わりました。



朝会終了後すぐに何人かの子が駆け寄ってきて、「じゃがいもに穴をあけたら」「小さく切ったり、スライスしたら」など、考えを巡らせていたのを嬉しく思いました。

この話を通して、なにが浮く・沈むといった知識を教えようとしたわけではありません。伝えたかったことは、自分の頭でうんと考えること。「おもしろい」「もっと調べてみたい」という能動的な心情を自分の中から創りだせることが学びには大切であること。また、みんなで学ぶときに行っている「自分の考えを持つこと」「伝えること」「友だちと考えを交流すること」から学びは深まることです。

実は、今日発表してくれたきまりにはあてはまらない野菜(トマト、玉ねぎ)などもあり、家庭にある野菜でいろんな実験をしてくれる子が出てきたらさらに嬉しく思います。